

令和7年度 第5学年 授業改善推進プラン

台東区立千束小学校

	児童・生徒の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	- 文章を書く際に既習漢字を適切に活用すること。 - 内容の中心を明確にし、自分の考えを伝える文章を書くこと。	- 語彙を豊かにし、日常生活でも言葉を正しく活用しようとする態度 - 自分の思いや考えを文章で表現する力	- 音読や読書を通して様々な文章に触れる機会を設ける。分からない言葉は国語辞典やタブレットを活用して、その都度調べられる環境を整える。 - 手本を示し、書き方の理解を促す。
社会	- 地図帳や資料から必要な情報を得て、活用すること。 - 学習内容と日常生活の関連を図ること。	- 資料から情報を集め、必要な情報を選び出し、まとめる力 - 学習したことを社会生活に生かそうとする態度	- 児童が興味・関心を示しやすい資料を意図的に提示し、必要な情報を選べるようにする。 1人1台端末を積極的に活用して調べたり、まとめたりする機会を増やす。 - 学習内容と自分の生活との関わりを考えて、振り返るようにする。
算数	- 基礎的な四則計算の定着 - 既習事項を生かして、新しい問題を解決すること	- 正確に四則計算ができる力 - 既習内容を活用して問題解決する力	- 家庭学習や朝学習等を活用したり、習熟度別学習の中で復習の時間を設定したりし、基本的な四則計算の習熟を図る。 - 既習事項の振り返りをし、自分の考えを式や図などを用いて説明する機会を増やす。
理科	- 用語や器具の名称等の知識を身に付け、適切に扱うこと。 - 既習事項や生活経験から根拠のある予想を立て、実験結果を考察すること。	- 必要な知識を身に付けようとする態度 - 根拠のある仮説や予想を立て、理由を説明する力	- 日常生活と結び付けながら学習を進め、理科への関心を高める。 - 日常生活での経験などを基にしながら仮説や予想を立てる機会を設定する。